

# グローバルイノベーション創出支援事業 令和2年度の主な取組みについて (令和3年3月15日現在)

# スタートアップ・エコシステム拠点都市形成にかかる取組み

## □ 政府、政府関係機関、民間サポーターによる集中支援。

### 政府による支援

**ランドマーク・プログラム**  
招致 (アクセラレーター、  
ビジネスコンペ)

**海外展開支援**  
(グローバルな情報発信、  
JETRO等拠点活用)

**横断的な創業支援**  
(起業家教育、起業促進  
GAPファンド、SBIR)

**規制緩和・政府調達**  
(Fast Track, 入札時  
の加点、SBIR)

### 民間による支援

**民間サポーター企業**  
人材、オフィス、製造施設、  
顧客チャネル等の提供

### エコシステム拠点形成コンソーシアム 縦割り打破、コミュニティづくり

**地方自治体**  
コミットと体制整備  
創業環境整備



City / Community



Mindset / Education



Acceleration

**大学**  
起業家教育  
研究成果の事業化

**民間組織**  
アクセラレーション  
成長資金、場の設定

### 各拠点都市の目標(例) (2024年度、2018年度比)

#### スタートアップの創出

**スタートアップ  
創出倍増**

※VC投資の数を測定



#### スタートアップの成長

**ユニコーン5社以上**



#### 起業家の聖地に

**海外起業家の  
誘致倍増**

※スタートアップVISA活用数を測定



令和3年1月下旬～事業開始

## 国による支援メニューについて

グローバル拠点都市（東京圏、名古屋・浜松、関西圏、福岡）のスタートアップを対象として、海外のトップアクセラレータによるアクセラレーションプログラムをオンラインで実施。

参加企業は、事業構想策定やプレゼン技術向上、海外プロモーションに係る支援、海外投資家等に対するデモデイを通じて、海外の協業先・販路の探索、ネットワークの構築をめざす。

- ・実施期間 : 令和3年1月下旬～3月下旬で、4月中旬にデモデイを開催予定。
- ・アクセラレータ : 2社 Techstars Central, LLC（英語のみ）、WiL, LLC（英語・日本語併用）
- ・参加スタートアップ : 全国4拠点で50社（参考：大阪 5社、京都 3社、ひょうご神戸 5社）

### 【大阪の参加企業】

企業名	分野	事業概要	参加コース
インテグラル・テクノロジー(株)	ソフトウェア	CAE解析用モデリングとアSEMBルの自動化	Techstars
(株)SIRC	電子部品	電流センサや磁気センサの開発・販売、省エネルギーソリューションの提供	Techstars
知能技術(株)	AI・ロボット	AI・ロボットの開発、事業化および技術コンサルティング	WiL
PaylessGate(株)	AI・アプリ	本人認証技術を活用した決済システム等の開発	WiL
BABY JOB(株)	保育サービス	保育の総合サポート、子育て支援の提供	WiL

## 大阪コンソーシアムの動き

- ・上記アクセラレーションプログラムに専門人材が伴走者として参加し、参加企業をサポート。
- ・コンソーシアムの規模を拡大し（現在43団体）、今後の活動計画の策定に取り組んでいる。
- ・各都市のイベントへの相互乗入れ、一体となった情報発信などの連携に向けて、京阪神で継続的に協議。

## 国際イノベーション会議 Hack Osaka 2021

- ✓ 8回目となる今回は初めてオンラインで開催
- ✓ テーマは「ニューノーマル時代に、大阪・関西は強みを生かし、世界に対してどのように貢献できるか」
- ✓ コロナ禍におけるイノベーション創出の重要性や、地域間連携によって生み出されるポテンシャルなどについて議論
- ✓ 京阪神のスタートアップ・エコシステムの魅力や京阪神のイノベーションのポテンシャルを発信
- ✓ 大阪市長に続いて、京都市長および神戸市長もオープニングスピーチに登壇



## 概要・実施状況

- ・開催日時：令和3年2月18日（木）13:00～17:30
  - ・開催手法：全編英語でオンライン ※登録者は954人（英語では18%）、当日ライブ視聴者は616人
  - ・内容：
    - ①キーノートスピーチ：大阪大学大学院の森下教授（アンジェス創業者）
    - ②パネルディスカッション：京阪神それぞれを拠点に活動する海外アクセラレータ3社（Plug and Play、Rain Making Innovation、500 Startups）
    - ③ピッチコンテスト：Future Societyをテーマに、スマートシティ、ヘルスケア、フードテックの3分野が対象。世界中から応募のあった115社から選抜されたスタートアップ10社が登壇
    - ④ローカルアップデート：関西のイノベーションシーンの紹介（学生起業家、けいはんな、産学融合など）
- ※ 2月24～25日には、海外スタートアップ13社と大阪・関西の企業・投資家等との商談会（56件）および関西の大学の技術シーズを大阪・関西の企業につなぐマッチング（13件）を実施